



令和3年12月20日 撮影

## 第3回タイ姉妹校交流

タイ王国の「プリンセスチュラボーン科学高校ブリラム校」と姉妹校提携を結び、毎年国際交流をしています。この科学高校はタイ国全土に12校あり、そのうちの1つがブリラム校です。これまでは毎年派遣と受入れを交互に行っていましたが、コロナ禍のため昨年度の交流は初めて中止となり、今年度はオンラインで4回行う予定でした。しかし、コロナ禍のため3回の実施となり、その交流で行われたことについて報告します。

12月17日（金）の放課後、渡邊校長と姉妹校との間でオープニングスピーチを交わした後、” Winter Season ” というテーマで行いました。今回は本校もスライドを使いながら英語で説明することにし、また、マイク付きイヤホンを購入していただいたおかげで、生徒たちはより交流しやすくなりました。御協力くださいました皆様に感謝します。シャイニングストリートや食べ物など大館の冬を紹介している生徒もいれば、スキー、冬休みの過ごし方、その日の天気、クイズ、本校内で行われた課題研究の紹介をしているグループもありました。生徒たちはテーマを話のきっかけとして自由に交流していました。



# 日本とタイ姉妹校群との学術交流10周年記念式典

12月20日（月）10:00~11:00、「日本とタイ姉妹校群との学術交流10周年記念式典」がオンラインで行われました。

この式典は、前頁で説明した12校のプリンセスチュラボン科学高校群と、日本の高等専門学校12校、本校のほか東京学芸大付属高等学校や立命館慶祥中学校・高等学校など日本の有力国立私立高校を中心としたSSH16校（元SSHを含む）が、学校同士の交流やサイエンスフェア・ICTフェアなどでの学術交流10周年を記念したものでした。

予定していた両国の教育相と文科相の祝辞こそ実現しなかったものの、両省代表者からの祝辞、駐タイ王国日本国大使の祝辞、2014年ノーベル物理学賞受賞者である天野浩博士による青色発光ダイオード（LED）についての特別講演、これまでのタイと日本の10年の交流についてのスライドと説明、来年度以降のフェアのお知らせなどが1時間の中に盛り込まれていました。

本校視聴覚室に2H生徒、校長、副校長、2H担任、国際教育委員等の教員が集まり、前方に置いた電子黒板を通して式典に参加しました。式典は、タイ語、英語、日本語で行われ、タイ語の時は画面下に日本語が表示されました。しかし、後ろからは字が小さくて読みづらかったという反省もありましたので、教室前後などに複数の電子黒板を置くなどして今後は対応していきたいと思っています。

1時間という限られた時間の中ではありましたが、このような記念式典に参加できたことを光栄に思います。国際教育委員の中嶋先生をはじめ、英語科の先生方など多くの方々の御協力に感謝いたします。ありがとうございました。（文責：佐藤貢）

